

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
令和2年度 第2回理事会 議事録

- 1.開催日時 令和3年2月25日 午後3:00～午後4:15
- 2.開催場所 丸の内オアゾ4階、M&C Cafe
- 3.理事総数 13名
- 4.出席者数 4名（書面表決書7）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、小林均 敬称略）
書面表決書（前河洋一、鈴木良雄、森川貞夫、岩山海渡、比嘉正樹、黒田伸、高橋慎一 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

第1号議案 前回理事会および年次総会（6月19日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。

第2号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と保原幸夫氏が選出された。

第3号議案 役員改選について
3月31日任期満了に伴う、次期（2021年4月1日～2023年3月31日）役員の選任について審議を行った。
役員辞退の申し出がなかった役員には継続して頂くことになったが、定款9条の会員資格喪失条項に基づき佐藤文宏氏は任期満了とし、新規理事として菅原由大氏に就任していただくことになった。
また、中村宏氏の死去によって欠員になっていた監事には高橋慎一氏に就任していただくことになった。
なお、理事長には山西哲郎氏、副理事長には宇佐美彰朗氏、前河洋一氏、専務理事には保原幸夫氏が選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

【JSIE（NPO 法人日本市民スポーツ海外交流協会）役員（敬称略）】

理事	再任	山西 哲郎（理事長）
理事	再任	宇佐美 彰朗（副理事長）
理事	再任	前河 洋一（副理事長）
理事	再任	保原 幸夫（専務理事）
理事	再任	鈴木 良雄
理事	再任	岩山 海渡
理事	再任	森川 貞夫
理事	再任	比嘉 正樹
理事	再任	黒田 伸

理事	再任	小林	均
理事	再任	池上	孝則
理事	新任	菅原	由大
監事	再任	真島	由香
監事	新任	高橋	慎一

第4号議案 令和2年度事業報告書案および収支見込みについて

保原氏より本年度の事業報告および収支見込みについて報告があった。

■ J S I E マラソン教室

水曜夜開催の「エコノミカルランニング教室」は予定通り月2回開催したが、リモート勤務の影響などで延べ参加者数は4人に止まった。しかし、土曜日午後開催の「長距離練習会」には「緊急事態宣言」発令時を除けば毎回5名程度の参加があった。

講師謝礼金は収入および経費見合いとしているので収支は±0。

■ 熟年ランニングスクール

高齢者対象のスクールのため、「緊急事態宣言」発令中は皆さんが参加を自粛したので、延べ人数としては昨年の半分ぐらいとなった。

講師謝礼金は収入および経費見合いとしているので収支は±0。

■ 北海道マラソン教室

オリンピックのため北海道マラソンが中止になったので、ランナーズサポート北海道主催のランニング教室とコラボしての開催となった。講師派遣という形で、宇佐美氏の「フォームチェック&アドバイス」を実施した。

ランナーズサポート北海道から経費見合いの講師料を頂いたので、収支は+5千円。

■ メルボルンマラソン

参加申込者は6人だったが、メルボルンでの新型コロナ感染者増のため中止になったので、全額返金で対応した。HPやパンフレット作成費用が発生したので、実質的には35万程度の赤字となったが、持続化給付金200万円を受給できたので収支としては+166万円程度となった。確定申告の際、本年度の経費は認められるので現地ボランティアに必要な備品の購入を検討している。

■ 収支見込み

年会費収入（8万円）、管理部門経費（約10万円）を考慮すると、総合収支は約160万円となる見込み。

第5号議案 令和3年度の事業計画案について

保原氏より、現時点での事業計画案について報告があり、追加項目等について討議を行った。

■ 「J S I E エコノミカルランニング教室」本年度の実績を踏まえ、水曜夜の教室は廃止し、土曜日午後の長距離練習会を月1回から月2回にする形で継続する。

■ 「熟年ランニング教室」は開催要望があるので継続する。

■ 「北海道マラソン教室」は今年同様、講師派遣という形でランナーズサポート北海道主催のランニング教室をサポートする。

■ 「2021メルボルンマラソン」は、日本からの渡航可能になる時期が未定だが、とりあえ

ず日本事務局としての募集活動は開始する。

- その他、新規事業に関しては会員の皆さんから提案があった時点で実施検討を行うことにする。

第6号議案

今後の協会運営について

■ZOOM会議について

本協会は首都圏以外にお住まいの理事の皆さんも多く、理事会での討議ができないのが実情である。比嘉氏からZOOM会議の提案があったので、今後は随時取り入れていくことになり、具体的な方法については、後日、小林氏から提案していただくことになった。

なお、理事会および総会をZOOM会議で代用できるかどうかについては、都庁の担当部署に確認することになった。

■会員の動向について

山西理事長の勧誘で、磯野茂氏、山本正彦氏、進藤充氏の3名が新規に入会した。

今後とも継続して会員勧誘につとめましょうとのこと。

第7号議案

その他

■次回理事会について

次回理事会の主要議題は令和2年度報告書等提出書類の内容確定および承認となる。


時期的には昨年同様、6月初旬に年次総会と併せて実施する予定だが、ZOOM会議を採用することでそれ以前に実施することも検討することになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後4時15分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

令和3年2月25日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 山西 拓印 

議事録署名人 宇佐美 彰朗 

議事録署名人 保原 幸夫 